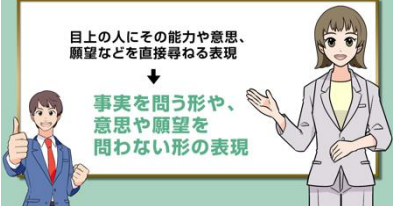
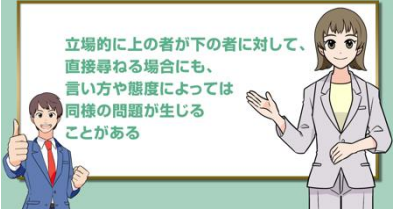


Cut No.	PICTURE	DIALOGUE & SOUND
C 01		
C 02		【事例】 部長と部下の会話 上司 「来週フランスから取引先の担当者が来るから会議の準備をしてください。」
C 03		部下 「はい、承知いたしました。いらっしゃる方はフランス語を話すのでしょうか。」
C 04		部長はフランス語もお話しになれるんですか？」
C 05		部長 「ん??… フランス語も日常会話くらいだったらできるよ。」
C 06		部下 「そうなんです。さすがです。あっ、そろそろ少し休憩しませんか？コーヒーをいれてきます。」
C 07		部長もコーヒーをお飲みになりたいですか？」
C 08		部長 「ん??… ありがとう。それでは私ももらおうか。」

Cut No.	PICTURE	DIALOGUE & SOUND
C 09		部下 「かしこまりました。」
C 10		部下（会議室を出て歩きながら） 「部長、怪訝（げげん）な顔をしてたなあ。」
C 11		なんかまずいこと言ったかなあ？」
C 12		【解説】 [ナビゲーター] いかがですか？ なぜ部長は怪訝な顔をしていたのでしょうか。 部長への尋ね方に問題がありそうです。
C 13		「お話しに出来ますか」や「お飲みになりたいですか」という表現は、敬語の形自体に問題はありませんが、目上の人に対してその能力、意思、願望などを直接尋ねているという点で問題があります。
C 14		立場的に下の者が目上の人に対して、「フランス語が話せるか」と直接問うことは、相手の能力を測っているかのように取られてしまいます。
C 15		その目上の人の中の内部に踏み込むことになり、適切とは言えません。
C 16		このような場合は、直接的な表現を避けて問い掛けてみてはいかがですか。 例えば、事実を問う形にすることで十分にその意図を表すことができます。

Cut No.	PICTURE	DIALOGUE & SOUND
C 17	部長は、フランス語もお話しになるんですか 	部下 「部長は、フランス語もお話しになるんですか。」
C 18	(適切ではない言い方) 「コーヒーをお飲みになりたいですか。」 ↓ (適切な言い方) 「コーヒーをお飲みになりますか。」 「コーヒーいかがですか。」 	同じように「コーヒーをお飲みになりたいですか」も「コーヒーをお飲みになりますか。」や「コーヒーいかがですか。」という表現で、十分にその意図を表すことができます。
C 19	(適切ではない言い方) 課長は、夏休みにはどちらへいらっしゃるつもりですか。 ↓ (適切な言い方) 「課長は、夏休みにはどちらへいらっしゃいますか。」 	【解説】 また上司に、「課長は、夏休みにはどちらへいらっしゃるつもりですか。」と言うのも敬語の形としては間違いではありませんが、 「課長は、夏休みにはどちらへいらっしゃいますか。」という言いの方が、抵抗なく受け入れられるのではないのでしょうか。
C 20	目上の人にその能力や意思、願望などを直接尋ねる表現 ↓ 事実を問う形や、意思や願望を問わない形の表現 	このように、敬語の形自体に問題はなくとも、目上の人に対して、その能力や意思、願望などを直接尋ねることは避け、事実を問う形や、意思や願望を問わない形の表現にするとよいでしょう。
C 21	立場的に上の者が下の者に対して、直接尋ねる場合にも、言い方や態度によっては同様の問題が生じることがある 	なお、同様のことを、立場的に上の者が下の者に対して直接尋ねる場合にも、言い方や態度によっては同様の問題が生じることがあるので注意が必要です。」
	